

風物詩

星に彩られた歴史ロマン

～七夕の日に、「星のまち☆かたの」で逢いましょう～

狩り暮らし 棚機つめに 宿からむ
天の川原に われは来にけり

この和歌は、平安時代の貴族、在原業平が本市を流れる「天野川」を夜の大空に星の連なる“天の川”に見立てて詠んだものです。この他にも多くの古人により交野の地で七夕伝説にちなんだ和歌が詠まれています。

このように本市には古くから七夕や星・天空にゆかりの深い和歌や伝説などが語り継がれ、行事も継承されています。また、近年では市民等が中心となって行う七夕イベントも大変盛り上がっています。

☆はたもの機物神社の七夕祭

機物神社には織姫が氏神として祀られています。これは、この地で栄えた大陸からの機織技術と、平安貴族らの七夕ロマンとが融合し、平安時代以降、たなばたつめ棚機女として崇められるようになったのではないかとされています。

同神社の七夕祭りでは、境内に用意された数十本の青竹に、子どもたちが願いごとを書いた色とりどりの短冊が飾られ、近隣市からも大勢の人が訪れます。午後11時を過ぎると神主らによって、織姫と牽牛が逢ったと伝わる「逢合橋」で天野川に短冊を流します。



☆星田妙見宮の七夕祭

本市南部の星田地域には、北斗七星が3か所に降り落ちたという伝説があり、星田妙見宮はそのうちのひとつと語り継がれています。

星田妙見宮の七夕祭では、手づくりの紙芝居が行われます。お題はもちろん「七夕さま」。子どもたちも大人も熱心に聞き入ります。その他、隕石などの展示

も行われます。

午後9時を過ぎると太鼓の音とともに七夕飾りの「お焚き上げ」が行われ、笹が燃えてはじけるたびに子どもたちの歓声が響きます。



☆天の川七夕まつり

市民、事業者等が協働して設置する天の川七夕まつり実行委員会が催すものです。「天野川」の遊歩道に沿って、子どもたちの願いを込めた短冊を飾るとともに、市民自らが里山に入って切り出した竹で作成した約1,000基の竹灯籠を並べます。

夕闇の訪れとともに、竹灯籠にともされた灯りが、柔らかな光の川のように浮かび上がり、約2万人の来場者を優しく包み込みます。



7月7日は、まち全体が七夕ムードに包まれます。是非、星に彩られた歴史ロマンに触れてみてください。

七夕の日に、「星のまち☆かたの」で逢いましょう。

● お問い合わせ先 ●

交野市総務部企画財政室（企画担当）

TEL：072-892-0121

FAX：072-891-5046

E-mail：kikaku@city.katano.osaka.jp